

< 第 2 議案 >

2007年度収支決算（案）

8～9ページの2007年度収支計算書（自2007年1月1日 至2007年12月31日）と貸借対照表（2007年12月31日現在）をもって、2007年度収支決算とする。

< 説明 >

2007年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

07年は、1月からの常勤スタッフ2人体制を前提に、当年度収支差額約59万円の赤字を見込んでいたが、結果としては約7万円の収支赤字となった（予算比で約111万円の収入増、約59万円の支出増）。全体としては、会費収入、イアブック収入といったピースデポ財政の基盤収入が予算を下回るなか、当初予算化していなかった助成金収入や寄付金収入、賞金等によって財政状況が大きく助けられる形になった。

ピースデポ財政の実態を見やすくするために、繰越金欄には、将来計画のために保有している将来計画資金（当年度繰越金の時点で1000万円）を除いた額を示した。また、2007年度に発生した、将来計画資金からの支出は別枠で示した。さらに、2007年に発生した2006年度（06年5月～07年3月）及び2007年度（07年7月～08年3月）宜野湾市調査委託契約にかかわる収入、支出についても別枠で示した。これらを勘案すると、2008年度予算への繰越金は、貸借対照表上では約1,175万円であるが、実質的には表の決算欄の「次年度繰越金」に計上されている約229万円である。

2. 会費収入について

会員・購読者の正味増40口（賛助会員相当）を目標としたが達成できず、未納会費・購読料の回収努力も一定の成果をあげたものの、会費収入全体で予算比約63万円の減となった。

3. 事業収入・支出について

イアブック07の実質収入については、金額的には昨年を上回ったものの、約37万円（予算比約11万円の減）と目標を達成できず、またイアブック06の実質収入は約30万円（予算比約30万円の減）と目標を大きく下回った。ピースデポ・ブックレットは刊行できなかった。プラス面の貢献としては、講演・執筆の予算比約29万円増や当初予算化していなかった助成金収入50万円があげられる。

事業費の支出では、印刷会社の変更に伴い、モニター経費が予算比29万円増となった。

4. 寄付金収入、助成金収入、雑収入について

夏季、冬季、海外派遣カンパすべてにおいて目標額を達成した。また、大口寄付金90万円や「DMZ平和賞」賞金の約55万円（雑収入に計上）が収入に大きく貢献した。

5. 管理費、予備費について

管理費については、臨時雇賃金の予算比約21万円増、旅費・交通費の予算比約33万円増など、予算時に想定していなかった支出増によって、全体として予算比約67万円の増となった。また、予備費については、6月の事務所移転にかかる経費を低く見積もり過ぎていたことなどから、予算比約9万円の増となった。